

## 新潟県がん診療連携協議会

## 令和5年度 第1回 情報連携部会

## 次 第

## 1. あいさつ

県立がんセンター新潟病院 副院長 竹之内 辰也

## 2. 協議

## (1) がん地域連携パスについて

ア) 各施設のがん連携パスの利用状況について

資料 2-1

イ) 今後の課題等について

資料 2-2

資料 2-3

## (2) がん相談支援センターについて

ア) 活動報告

資料 3-1

イ) 就労支援に関する取り組みの報告

資料 3-2

## (3) PDCAサイクル実施状況の評価について

資料 4-1

資料 4-2

資料 4-3

## 3. 第20回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

資料 5

## 4. 地域相談支援フォーラムについて

資料 6

## 5. がんサポートハンドブックについて

## 6. ワーキング立ち上げについて

## 7. 新潟県がん相談員研修会のお知らせ

資料 7

## 8. 新潟県がん診療連携協議会のホームページについて

資料 8

**新潟県がん診療連携協議会**  
**令和5年度 第1回 情報連携部会 議事録 【要旨】**  
**(令和5年7月3日(月) 開催)**

**【協議(1)ア.各施設のがん地域連携パスの利用状況について】資料2-1**

<利用実績>

- ・胃がんの stage I : 済生会新潟病院にて 15 件。継続的に利用いただいている。
- ・胃がんの stage II, III : 済生会新潟病院 3 件。
- ・胃がん ESD : 0 件。
- ・大腸がん : 長岡中央総合病院にて毎年利用いただいている。1 件。
- ・乳がん : 1051 件。利用が右肩上がり。後方連携の活性化ができています。
- ・肺がん、肝がん : 0 件。

**【協議(1)イ.今後の課題等について】資料2-2**

<各病院から挙げられた課題・意見>

- ・がんセンター : 地域連携パスの新規登録医療機関の開拓に取り組めていない。  
→がんセンターの実績は過去3年3か所の乳腺専門外科開業医が新規登録の半数を占め、集中している。医療機関向けの制度の普及と啓発に努めなければならない。
- ・新潟市民病院 : 乳がんの医療連携ノートの見直し・改正について  
→次の資料2-3で詳細を確認する。

**【協議(1)ウ.各施設のがん連携パスの利用状況について】資料2-3**

- ・利用登録件数が多いのはがんセンター。新潟市民病院も多い。佐渡総合病院が急速な増加。  
何か背景はあるか。  
→佐渡総合病院 : 昨年度まで連携パスをしていたが、集計体制が整っていなかった。
- ・乳がん以外の地域連携パスについて活用を進めるよう意見が挙がっており、資料2-3で各連携パスの活性化の方向を示した。2019年のアンケート調査で連携パスの使われない理由が「自施設でフォロー可能」「メリットがない」が多数。今後の利用の可能性として「条件を整えば」の回答もあったため検討の余地あり。各病院で逆紹介率を上げるため積極的に使っていただきたい。現行では使えない等の意見あれば挙げていただきたい。
- ・各病院の連携部門担当から乳がん以外の各がん腫の医師へ、連携パスの制度の存在を周知してほしい。今後利用希望があるかの意思確認をしてほしい。利用に際しパスの改定が必要であれば、具体的な変更点を部会へ挙げてほしい。必要あれば各科の専門医師の代表が集まるオンライン会議を設けることも可能。
- ・新潟市民病院から乳がん地域連携パスのノートの関する見直し、改定希望の意見が挙がった。

詳細は後日メールで送って頂く。具体的な意見を挙げていただき、後日集まる必要があるか検討したい。

<新潟大学病院 若井教授より>

- ・乳がん連携パスが最も稼働している愛知県立がんセンターでは、精度の高いすみ分けを行っている。
- ・胃がんや肝がんは症例が減っており、各地域でやるのが適当かどうか。大腸がんや肺がんは専門家で検討すると良い。
- ・国立がん研究センターや愛知県立がんセンターの資料を新大病院やがんセンター新潟病院で試行、適当であれば導入してはどうか。  
→今後、リスク別の選別に取り組む必要がある。がんセンターでも検討させていただく。

### 【協議(2)ア.がん相談支援センターの活動報告】資料3-1

<各病院から資料3-1をもとに報告・課題・意見>

- ・がんセンター新潟病院：がん相談対応モニタリングで「評価表」を用いた評価、分析を実施。  
アピアランス支援センターの情報を参考にしている。
- ・新発田病院：入院時支援でがん相談支援センターの案内を渡し、広報活動している。
- ・新潟市民病院：患者サロン「ひまわりサロン」感染対策を講じ、定期開催に向けた準備を進めている。  
相談記録の集計結果を活用し、中長期的なニーズの分析、共有を行っている。  
乳腺外科外来で医師から、がん相談支援センターで就労相談可能と案内している。
- ・新潟大学病院：YouTube を利用しての患者サロンの実施。  
がんの診断時、外来で相談支援センターのパンフレットを渡す方向で準備中。
- ・長岡赤十字病院：新入職者研修で拠点病院の役割、がん相談支援センターの役割をPRしている。  
今後、全職員に向けて動画視聴により役割を伝える予定。  
アピアランスケアに関して、脱毛以外は取り組めていない。
- ・長岡中央総合病院：がん相談支援センターの配布用パンフレットを見直し、管理者会議でパンフレットの配置依頼、がん診断時にお渡しするよう協力依頼した。  
がんサロンやピアサポートの活用を今後検討したい。  
アピアランスケアに関してがん認定看護師や薬剤師からの協力あり。
- ・県立中央病院：市民がん公開講座の際、「がん相談支援センターからのお知らせ」講演を実施。  
聴講者にがんサポートハンドブック、がん相談支援センターの案内、がんサロンの案内を配布した。  
アピアランスケアの現状や相談者のニーズを市役所職員と情報共有している。
- ・魚沼基幹病院：患者サロンで講演会やおしゃべり会を先月開催できた。  
がんの告知を受けた患者を相談支援センターまで案内する取り組みを開始した。
- ・西新潟中央病院：肺がんセミナーを計画。オンライン予定だが、集合型ができないか検討中。
- ・立川総合病院：各種研修会の参加により、相談支援のスキル向上、自己研鑽を図っている。

- ・ 柏崎総合医療センター：相談実件数、面接150件、電話相談106件。  
今年度からがん患者向けのサポートセミナーが再開。今後も計画継続。  
アピランスケア助成事業に関し、柏崎市担当者と話し合いを行っている。
- ・ 上越総合病院：近く患者サポートセンターが開設される予定。今回の情報を参考にする。  
→活性化されることを期待している。
- ・ 佐渡総合病院：がん相談支援センターの周知に向け、外来へパンフレット設置を交渉中。  
→課題は共通している。整備指針の中でやるべき機能として盛り込まれている、相談支援センターへのアクセスの向上、ピアサポート等。できていること、できていないことを共有し、前進できると良い。

## 【協議(2)イ.がん相談支援センター 就労支援について】 資料3-2

<ハローワーク連携と両立支援の件数の多かった病院から現状報告>

- ・ がんセンターに新潟病院：ハローワーク22件。就職に結びついたのは3件。  
就労相談は産業医がいないことで算定に至らない。  
会社の産業医から連絡をいただき両立支援を開始したケースがあった。
- ・ 新潟市民病院：ハローワーク108件。がん以外の病気の方もやっている。  
乳腺外科患者の相談が多い傾向。  
両立支援1件。大腸がん術後、化療開始。職場の療養休暇期間に関して両立支援促進員との面談で安心できたケース。
- ・ 長岡赤十字病院：ハローワーク13件。就労につながったのは4名。  
がん以外（難病等）患者も就労相談増えている。  
両立支援は2件。血液疾患の患者で業務内容や働き方のアドバイスをもらい就労継続できたケースがあった。
- ・ 長岡中央総合病院：就労に結びついたケース3件。今年度すでに4件の相談あり。  
ハローワーク長岡はオンライン相談実施。診察日に合わせるができる。  
昨年初めて両立支援相談を実施した。化療しながらの働き方を相談できた。

## 【協議(3)PDCA サイクル実施状況の評価について】 資料4

<資料4-1>

- ・ PDCA 評価は例年実施。各項目の回答に関して、「0」回答はなし、「2」の回答になる項目は来年度から「2」の回答にしてほしい。

<資料4-2>

- ・ 項目別の推移。難しい項目は改善が毎年難しい。項目12は「患者満足度調査」に「相談への満足度」を設ける仕組みを作る検討をしてはどうか。

<資料4-3>

- ・ 病院別の過去3年の推移。年次的に改善が見られているか、参考にしてほしい。

### 【3 第20回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告】 資料5

- ・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の情報提供相談支援部会（5月26日開催）の報告。
- ・「3. 第4期がん対策推進基本計画とアピランス支援モデル事業について」に関して。
- ・「4. P D C A実施状況チェックリストの今後の活用方法の検討」に関して。

### 【4 令和4年度地域相談支援フォーラム開催報告と今後の予定について】 資料6

- ・県立新発田病院 山田主任看護師より資料6をもとに開催報告。
- ・新潟大学病院 志田MSWより令和5年度地域相談支援フォーラム in 山梨の進捗状況の報告。
- ・テーマ：「妊孕性温存について理解を深め、相談できる仲間を増やす～病院内で妊孕性温存について広めるための活動に活かせることを目標とする～」
- ・新潟県の発表テーマ「新潟県における妊孕性温存療法やAYA世代についての各病院の現状と今後の課題」
- ・今後、メーリングリストで各医療機関に妊孕性温存療法についてのアンケート依頼予定。協力いただきたい。

### 【5 がんサポートハンドブックについて】

- ・新潟県福祉保健部 地域医療政策課 羽入先生より説明。県のHPで「がんの療養」で検索するとサポートハンドブックのPDFあり。今年度も冬頃の改定に協力願いたい。

### 【6 ワーキング立ち上げについて】

- ・がんセンター新潟病院 大下MSWより説明。8月にオンラインワーキングを開催予定。
- ・メールで各病院の代表者1名を選出、取り上げたいテーマについて意見をもらいたい。
- ・共通の課題をグループごとに議論して改善に結びつけたい。

### 【7 新潟県がん相談員研修会のお知らせ】 資料7

- ・がんセンター新潟病院 菅野MSWより、資料7をもとに説明。
- ・テーマ「終末期の在宅療養を希望する患者の支援」
- ・ZOOMによるオンライン形式。10月下旬の開催予定。皆様からの参加をお願いしたい。

### 【8 新潟県がん診療連携協議会のホームページについて】 資料8

- ・がんセンター新潟病院 竹之内会長より、資料8をもとに説明。
- ・がん診療連携協議会の機能が見えるよう、がんセンター新潟病院HP内に「新潟県がん診療連携協

議会」のバナーを設けた。

- ・載せたい情報あれば、事務局まで問い合わせを。

## **【9 新潟県がん相談員研修会のお知らせ】 資料9**

- ・がんセンター新潟病院 竹之内会長より、資料9をもとに説明。
- ・皮膚がん啓発のリーフレットを作成した。各病院へ送付済み。設置をお願いしたい。

## 令和5年度第1回情報連携部会 出席者名簿

施設番号	施設名	所属	職名	氏名
	新潟県福祉保健部	地域医療政策課	主任 医師	羽入 晋太郎
	ほその循環器科・内科クリニック	新潟市医師会		細野 浩之
	高野医院	長岡市医師会	理事(総務部長)	高野 勝
1	県立がんセンター 新潟病院	皮膚科	副院長 患者サポートセンター長	竹之内辰也
		患者サポートセンター	看護師長 副センター長	松井 園子
		患者サポートセンター	副看護師長	吉田 志穂
		患者サポートセンター	主査 MSW	菅野 まり子
		患者サポートセンター	主査 MSW	大下 多恵子
		庶務課	庶務係長	錦織 ゆか子
2	新潟大学医歯学 総合病院	腫瘍センター	部長	若井 俊文
		腫瘍センター	看護師長	上杉 雅子
		患者総合サポートセンター	MSW	志田 香奈子
		医事課	副課長(事務担当)	井部 達也
		医事課	専門職員(事務担当)	目黒 恵美
3	新潟市民病院	腫瘍内科・がん診療支援室	室長・医師	伊藤 和彦
		がん診療支援室	医療福祉相談員	小林 朝美
4	県立新発田病院	診療部	診療部長兼患者サポートセンター長	長谷川 聡
		看護部(患者サポートセンター)	主任看護師	山田 史子
		患者サポートセンター	社会福祉士	齊藤 愛里
5	長岡中央総合病院	消化器病センター 外科	医師 外科部長	川原聖佳子
		がん相談支援センター	看護師 看護師長	遠藤春美
		がん相談支援センター	医療ソーシャルワーカー	村田亜由美
6	長岡赤十字病院	呼吸器内科	がん相談支援センターセンター長	石田 晃
		がん相談支援センター	看護係長	橋本 幸子
7	県立中央病院	外科部長	医局	青野 高志
		患者サポートセンター・がん相談支援センター	副看護師長	樋口 伸子
		患者サポートセンター・がん相談支援センター	医療相談員	米山 友
8	魚沼基幹病院	がん相談支援センター	看護師	池田 幸恵
		がん相談支援センター	医療ソーシャルワーカー	上村 久美
		事務部経営企画課	事務	深野 光一郎
9	済生会新潟病院	医療福祉相談室	MSW	洪川 健史
10	立川総合病院	医療相談室	MSW	江部 涼太
		医療連携室	一般事務	川内 泰志
11	柏崎総合医療センター	患者サポート室	社会福祉士	大倉 利江子
12	上越総合病院	地域連携センター	看護師	利根川 典子
		地域連携センター	社会福祉士	石崎 香織
		地域連携センター	社会福祉士	小竹 成美
13	西新潟中央病院	医局(呼吸器外科)	特命副院長 呼吸器部長	渡辺 健寛
		地域医療連携部	医療社会事業専門職	吉田 大輔
14	佐渡総合病院	がん相談支援センター	事務員	濱田 望
		がん相談支援センター	MSW	齋藤 謙

## 令和5年度第1回情報連携部会 会員名簿

病院名	所属	職名	氏名	備考
新潟県福祉保健部	地域医療政策課	政策企画員	高畑 慶一郎	
	地域医療政策課	主任 医師	羽入 晋太郎	
ほその循環器科・内科クリニック	新潟市医師会		細野 浩之	
高野医院	長岡市医師会	理事(総務部長)	高野 勝	
原消化器内科医院	新発田北蒲原医師会	副会長	原 秀範	
内山医院	上越医師会	理事	内山 一晃	
県立がんセンター 新潟病院	皮膚科	副院長 患者サポートセンター長	竹之内 辰也	
	患者サポートセンター	看護師長副センター長	松井 園子	
	患者サポートセンター	副看護師長	吉田 志穂	
	患者サポートセンター	主査 MSW	菅野 まり子	
	患者サポートセンター	主査 MSW	大下 多恵子	
	庶務課	庶務係長	錦織 ゆか子	
新潟大学医学 総合病院	腫瘍センター	部長	若井 俊文	
	腫瘍センター	看護師長	上杉 雅子	
	腫瘍センター	看護師	山際 直美	
	患者総合サポートセンター	MSW	志田 香奈子	
	医事課	副課長(事務担当)	井部 達也	
	医事課	専門職員(事務担当)	目黒 恵美	
新潟市民病院	腫瘍内科・がん診療支援室	室長・医師	伊藤 和彦	
	がん診療支援室	医療福祉相談員	小林 朝美	
	看護部	看護師	三富 弘子	
県立新発田病院	診療部	診療部長兼患者サポートセンター長	長谷川 聡	
	看護部(患者サポートセンター)	主任看護師	山田 史子	
	患者サポートセンター	社会福祉士	齊藤 愛里	
長岡中央総合病院	消化器病センター 外科	医師 外科部長	川原聖佳子	
	がん相談支援センター	看護師 看護師長	遠藤春美	
	がん相談支援センター	医療ソーシャルワーカー	村田亜由美	
長岡赤十字病院	呼吸器内科	がん相談支援センターセンター長	石田 晃	
	がん相談支援センター	看護係長	橋本 幸子	
県立中央病院	外科部長	医局	青野 高志	
	患者サポートセンターがん相談支援センター	副看護師長	樋口 伸子	
	患者サポートセンターがん相談支援センター	医療相談員	米山 友	
魚沼基幹病院	がん相談支援センター	センター長	小杉 伸一	
	がん相談支援センター	看護師	池田 幸恵	
	がん相談支援センター	医療ソーシャルワーカー	上村 久美	
	がん相談支援センター	医療ソーシャルワーカー	佐藤 芳伸	
	事務部経営企画課	事務	深野 光一郎	
済生会新潟病院	医療福祉相談室	MSW	渋川 健史	
	入院支援室	看護師	佐藤 真衣子	
立川総合病院	外科	医師	蛭川 浩史	
	看護部	看護師	吉岡 美鈴	
	医療相談室	MSW	江部 涼太	
	医療連携室	一般事務	川内 泰志	
柏崎総合医療センター	外科	副院長	植木 匡	
	看護部	病棟師長	横関 泰江	
	患者サポート室	社会福祉士	大倉 利江子	
	患者サポート室	事務員	泉 麻耶	
上越総合病院	地域連携センター	看護師	利根川 典子	
	地域連携センター	社会福祉士	石崎 香織	
	地域連携センター	社会福祉士	小竹 成美	
西新潟中央病院	医局(呼吸器外科)	特命副院長 呼吸器部長	渡辺 健寛	
	看護部	がん性疼痛看護認定看護師	星野 睦美	
	地域医療連携部	医療社会事業専門職	吉田 大輔	
佐渡総合病院	がん相談支援センター	事務員	濱田 望	
	がん相談支援センター	MSW	齋藤 謙	
	地域がん診療病院運営委員会事務局	事務員	佐久間 祥	
	地域がん診療病院運営委員会事務局	事務員	山口 剛義	



胃がんステージⅠ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟	0	0	1	0	1	4	2	2	1	1	1	2	15	14
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	1	0	1	4	2	2	1	1	1	2	15	14

胃がんステージⅡ・Ⅲ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	3
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	3

胃がん ESD

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大腸がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央					1								1	1
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0

計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

乳がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度
がんセンター	12	17	20	23	23	20	26	25	24	17	24	23	254	294
新潟大学	5	9	7	7	7	3	9	5	7	9	8	17	93	100
新潟市民	21	16	17	22	17	17	25	16	15	15	18	15	214	224
県立新発田	8	5	5	5	7	13	11	8	8	8	10	10	98	79
長岡赤十字	11	10	12	13	8	10	12	12	6	7	15	12	128	126
長岡中央	5	2	5	1	3	6	8	6	6	5	2	5	54	57
県立中央	5	7	9	7	4	11	5	7	7	6	13	8	89	80
済生会新潟	9	0	2	3	7	4	7	7	0	2	2	7	50	45
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院	5	6	7	4	5	5	8	5	9	6	4	7	71	0
計	81	72	84	85	81	89	111	91	82	75	96	104	1051	957

肺がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

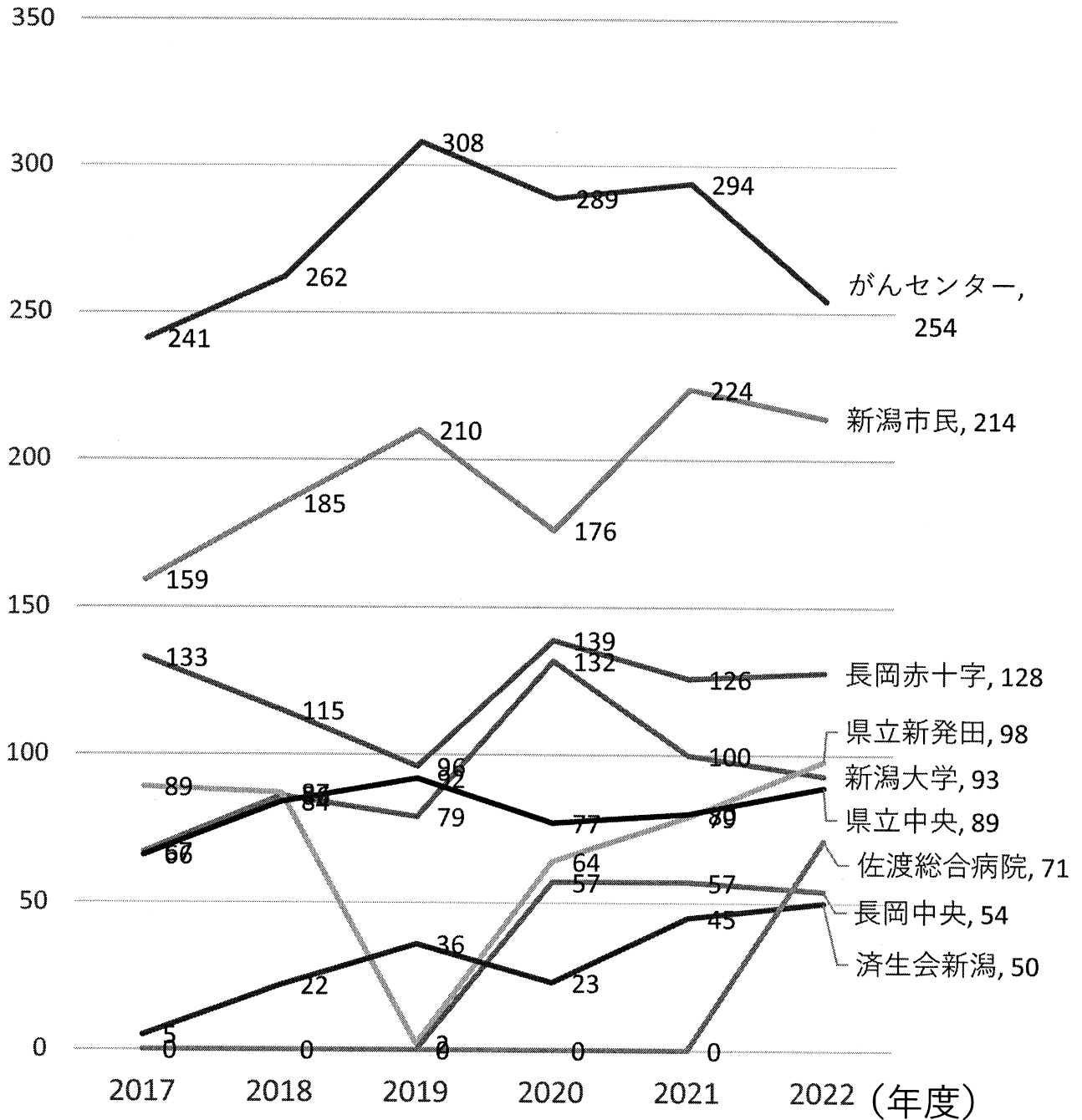
肝がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## がん地域連携パス 今後の課題等について

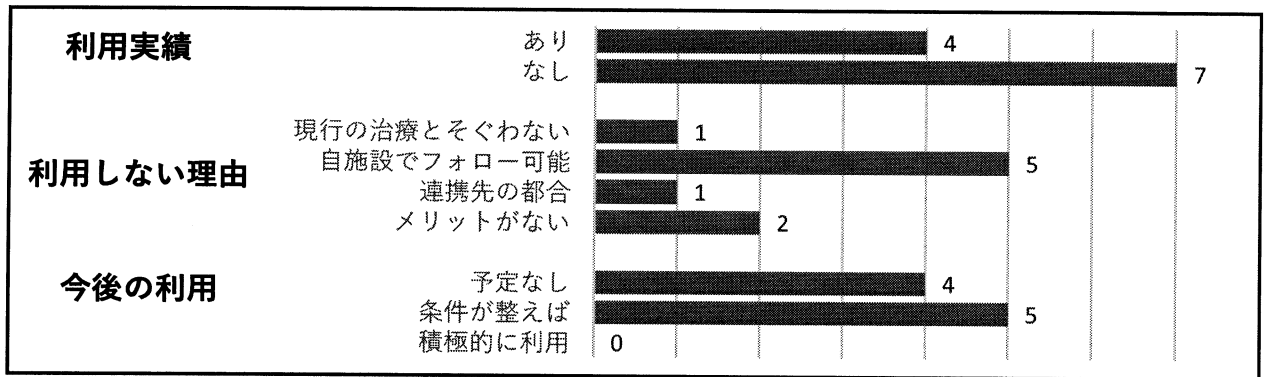
	担当者/所属部署	今後の課題等について・ご意見
県立がんセンター新潟病院	上山裕美 ／患者サポートセンター	登録連携医療機関から受入不可と断られる事例がある一方で、新規登録医療機関の開拓に取り組めていない。現在の地域連携パス体制を維持することが必要であり、他病院と連携医療機関の情報を共有して新たな連携先を開拓するなど、今後も課題を共有することが重要と考える。
県立新発田病院	山田史子 ／患者サポートセンター	
新潟市民病院	伊藤和彦 ／がん診療支援室	乳がんの医療連携ノートについて、乳腺外科医師より、再度の見直し・改訂について希望する声が聞かれています。
新潟大学医歯学総合病院	志田香奈子 ／患者総合サポートセンター	・今後も他病院の方々と課題を共有できる場を設けていただければ幸いです。
済生会新潟病院	佐藤 真衣子 ／入退院支援室	
長岡赤十字病院	荒木亮介 ／地域連携・福祉支援課	特にありません。
長岡中央総合病院	遠藤春美 ／がん相談支援センター	
県立中央病院	樋口伸子 ／患者サポートセンター・ がん相談支援センター	胃、大腸、肺、肝のがん地域連携パスは稼働していない状況。
魚沼基幹病院	池田幸恵 ／がん相談支援センター	
西新潟中央病院	渡辺健寛 ／呼吸器外科	肺癌領域ではUFT内服の連携は多くの施設で実行していません。
立川総合病院		
柏崎総合医療センター	大谷美佳 ／病歴室	
上越総合病院		
佐渡総合病院	齋藤 謙 ／がん相談支援センター	

## 乳がん地域連携パスの新規利用状況

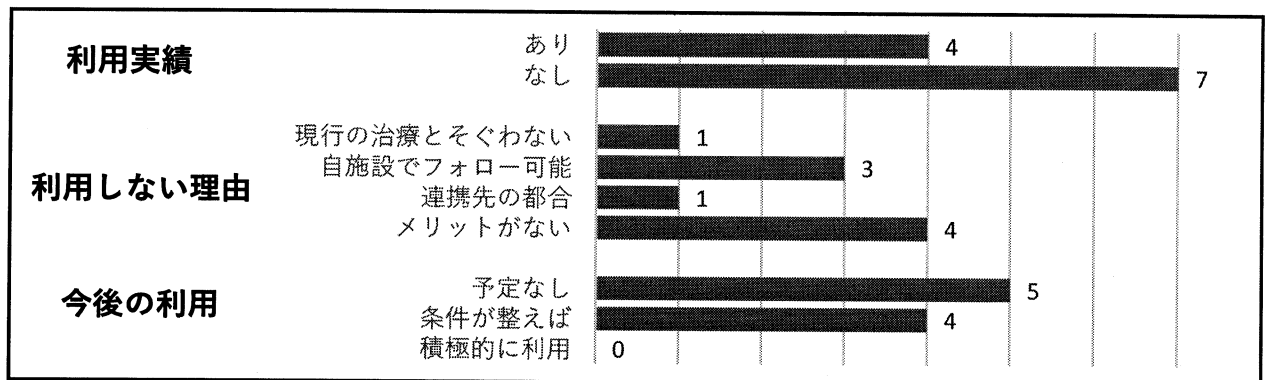


胃がん

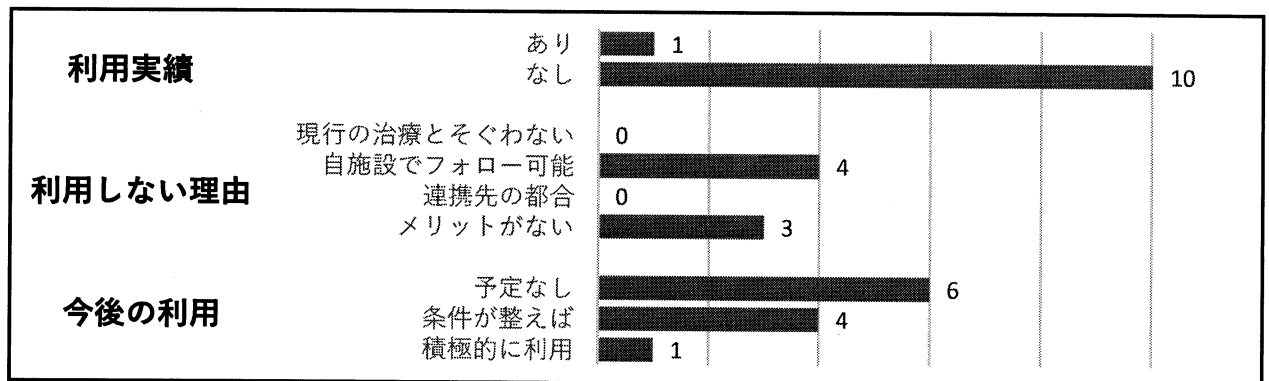
乳がん除く



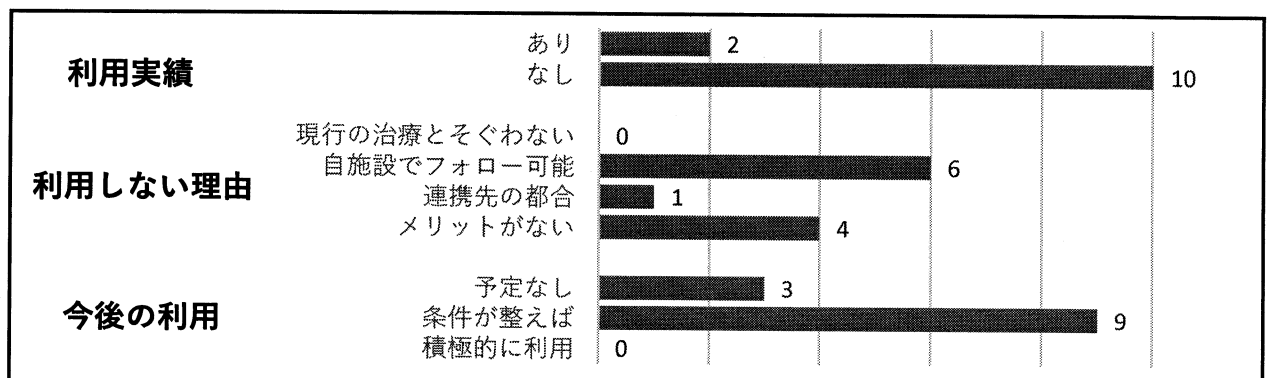
大腸がん



肺がん



肝がん



# 胃がんStage I

## Stage I 術後連携パス概略

略字 M:月、Y:年

術後(年)	1M	6M	1Y	1Y 6M	2Y	2Y 6M	3Y	4Y	5Y
術後・診察、PS、検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○
検査(末梢血、生化学、腫瘍マーカー)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エコー				○					
CT			○				○		○
胸部レントゲン							○		○
内視鏡			○				○		○

- ※ 必要時に施行：残胃造影、注腸、大腸内視鏡、骨シンチ、PET
- ※ 5年後以降は基本健診、職場検診や人間ドッグを有効利用する
- ※ 尚、胃全摘後の大球性巨赤芽球性貧血(悪性貧血)に対しては、ビタミンB<sub>12</sub>を定期的に投与する

~ 11 ~

# 胃がんStage II-III

## Stage II-III 術後連携パス概略

略字 W:週、M:月

術後(年)	1年			2年			3年			4年			5年		
	2W	3M	6M	3M	6M	9M	3M	6M	9M	3M	6M	9M	3M	6M	9M
術後・診察、PS、検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
検査(末梢血、生化学、腫瘍マーカー)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エコー															
CT			○												
胸部レントゲン			○												
内視鏡			○												
T9-1			○												

- ※ 必要時に施行：残胃造影、注腸、CF、骨シンチ、PET
- ※ 5年後以降は基本健診、職場検診や人間ドッグを勧める  
腫瘍マーカー(TM):CEA, CA19-9, CA125
- ※ 尚、胃全摘後の大球性巨赤芽球性貧血(悪性貧血)に対しては、ビタミンB<sub>12</sub>を定期的に投与する

~ 15 ~

# 胃がんESD

## 内視鏡治療後連携パス概略

内視鏡治療後の定期検査は、治療の根治性の評価によりAとBの2コースに分かれます。

※ 根治性の評価  
 治療切除 A  
 遠隔拡大治療切除 A or B  
 非治療切除 B

あなたは \_\_\_\_\_ コースです。

術後(年)	3M	6M	1Y	1Y 6M	2Y	2Y 6M	3Y	4Y	5Y
術後・診察、PS、検査	●	○	○	○	○	○	○	○	○
検査(末梢血、生化学、腫瘍マーカー)	●	○	○	○	○	○	○	○	○
内視鏡検査	●	○	○	○	○	○	○	○	○
CT/エコー	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- : 手術病院での実施
- : かかりつけ院での実施
- ※: 手術病院もかかりつけ院
- ◎: 遠隔拡大治療切除の一部と非治療切除の通知事項
- ・もし手術病院で実施した場合は、黒く(●)塗りつぶしてください。
- ・実施しない方針、あるいは実施しなかった場合は、斜線を引いて下さい。
- ・5年後以降は基本健診、職場検診や人間ドッグを有効利用して下さい。

~ 12 ~

# 大腸がん

## 大腸がん術後連携ノート(1~6ヶ月)

ID: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

○: 必須項目 △: 必要時にあります △: 補助化学療法施行時に実施

項目	1ヶ月		2ヶ月		3ヶ月		4ヶ月		5ヶ月		6ヶ月	
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	
術後・診察、PS、検査												
検査(末梢血、生化学、腫瘍マーカー)												
CT												
胸部レントゲン												
内視鏡												

※ 気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

~ 7 ~

# 肺がん

## UFT外来治療パス(項目確認用シート)

確認項目

項目	確認項目	UFT外来治療パス(項目確認用シート)内実施
【術前・術後】	術前 術後	○ 日本癌学会について説明 ○ 治療目的のパスの説明 ○ 腫瘍日誌の説明
【検査等】	検査	○ PSA, 腫瘍マーカー ○ PSA, 腫瘍マーカー ○ PSA, 腫瘍マーカー ○ PSA, 腫瘍マーカー
【術後・術前】	術前 術後	○ 腫瘍日誌 ○ 腫瘍日誌 ○ 腫瘍日誌 ○ 腫瘍日誌
【術後・術前】	術前 術後	○ 腫瘍日誌 ○ 腫瘍日誌 ○ 腫瘍日誌 ○ 腫瘍日誌

~ 11 ~

# 肝がん

## 連携パス(1~6ヶ月)

ID: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

検査項目	実施	1ヶ月		2ヶ月		3ヶ月		4ヶ月		5ヶ月		6ヶ月	
		月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	
検査													
検査													
検査													
検査													
検査													
検査													

※ 気になる項目は、必ず医師に相談して下さい

~ 9 ~

# がん地域連携パス(乳がん以外)の方向性

- 今一度、各病院の連携部門から担当医師に制度の存在について周知
- 今後の利用希望について意思確認
- 利用するにあたってパスの改訂が必要であれば、具体的な改訂要望を部会に挙げて頂く
- 当該パス関係者間での協議の場を設ける

## 実態調査② がん相談支援センター

病院名 相談室の名称	専任: がん相談(専任)以上 専任: がん相談(専任)以上	職種	施設名称	相談員件数 (2022.1.1~2023.3.31)	がん相談員研修受講終了の現況										相談支援のスキル向上を目的とした取り組みの状況	啓発・普及の取り組み状況 (啓発会の開催等)	今後検討・計画していること	情報連携部会に関する質問			
					氏名	職種	医師(1)	医師(2)	医師(3)	看護師	臨床心理士	社会福祉士	その他	研修中					研修未受講		
鳳立がんセンター 新富病院 患者サポートセンター	専任(専任以上) 大高知佳 専任(専任以上) 上山裕典 その他 松井麗子 吉田志穂 藤田孝 大矢明子 川井智理 菅野あかり 大平多美子 倉田長歩	看護師 社会福祉士	入院相談支援	研修修了	3279	松井麗子	看護師														
				電話相談	2980	川井智理	公認心理士	○	○												
				その他	0	上山裕典	社会福祉士	○	○	○	○										
						菅野あかり	社会福祉士	○	○	○	○										
						大平多美子	社会福祉士	○	○	○	○										
						倉田長歩	社会福祉士	○	○	○	○										
						吉田志穂	看護師	○	○	○	○										
						藤田孝	看護師	○	○	○	○										
						大矢明子	看護師	○	○	○	○										
						川井智理	心理士	○	○	○	○										
鳳立新富病院 がん相談支援センター	専任(専任以上) 山田史子 専任(専任以上) 松藤祐実	看護師 社会福祉士	入院相談支援	研修修了	718	高橋風美	社会福祉士	○	○	○	○										
				電話相談	800	石山路貴	社会福祉士	○	○	○	○										
				その他	0	菅野愛里	社会福祉士	○	○	○	○										
					0	松藤祐実	社会福祉士	○	○	○	○										
新潟市市民病院 がん相談支援センター (患者サポートセンター併設)	専任(専任以上) 小林晴美 専任(専任以上) 藤原里子 その他 押見将幸	MSW MSW MSW	入院相談支援員業務 患者相談業務	研修修了	390	押見 将幸	MSW	○	○	○	○										
				電話相談	288	小林 晴美	MSW	○	○	○	○										
				その他	0	藤原 里子	MSW	○	○	○	○										
新潟大学医療センター がん相談支援センター	専任(専任以上) 岩田 幸伸子 専任(専任以上) 山根直美	MSW 看護師	遠隔診療支援業務	研修修了	1545	岩田 幸伸子	MSW	○	○	○	○										
				電話相談	971	山根 直美	看護師	○	○	○	○										
				その他	0																
済生会新潟病院 医療福祉相談室	専任(専任以上) 坂川純史 専任(専任以上) 月岡多美子	MSW MSW	入院相談支援	研修修了	327	坂川 純史	MSW	○	○	○	○										
				電話相談	167	月岡 多美子	MSW	○	○	○	○										
				その他	1																
長岡赤十字病院 がん相談支援センター	専任(専任以上) 坂本美子 専任(専任以上) 田伏寿寿子 その他	看護師 MSW	MSW業務	研修修了	527	坂本 美子	看護師	○	○	○	○										
				電話相談	281	田伏 寿寿子	MSW	○	○	○	○										
				その他																	
長岡中央総合病院 がん相談支援センター	専任(専任以上) 遠藤孝典 専任(専任以上) 村田 直由美 専任(専任以上) 荒川和也	看護師 MSW MSW	医療福祉相談 医療福祉相談	研修修了	222	荒川 和也	MSW	○	○	○	○										
				電話相談	170	村田 直由美	MSW	○	○	○	○										
				その他	0	西片 明日香	MSW	○	○	○	○										
						佐藤 麻里	MSW	○	○	○	○										
鳳立中央病院 患者サポートセンター がん相談支援センター	専任(専任以上) 橋口伸子 専任(専任以上) 米山 文 その他 相澤紗織	看護副院長 主任臨床心理士 主任臨床心理士	医療相談 心理相談	研修修了	344	橋口 伸子	看護副院長	○	○	○	○										
				電話相談	197	米山 文	主任臨床心理士	○	○	○	○										
				その他	127	相澤 紗織	主任臨床心理士	○	○	○	○										
						渡邊 樹	医療ソーシャルワーカー	○	○	○	○										
魚沼基幹病院 がん相談支援センター	専任(専任以上) 池田幸恵 専任(専任以上) 佐藤芳伸 その他 上村久美	看護師 医療ソーシャルワーカー 医療ソーシャルワーカー	遠隔支援 遠隔支援	研修修了	428	池田幸恵	看護師	○	○	○	○										
				電話相談	212	佐藤芳伸	医療ソーシャルワーカー	○	○	○	○										
				その他	0	上村久美	医療ソーシャルワーカー	○	○	○	○										
直新富中央病院 医療相談室	専任(専任以上) 専任(専任以上) その他 吉田大輔		医療相談	研修修了	22	吉田 大輔	MSW	○	○	○	○										
				電話相談																	
				その他																	
立川総合病院 医療相談室	専任(専任以上) 専任(専任以上) その他		医療相談	研修修了	24	勝山 智美	看護師	○	○	○	○										
				電話相談	8																
				その他																	
柏崎総合医療センター がん相談支援センター	専任(専任以上) 専任(専任以上) その他 廣瀬真江 大寺利江子	看護師 社会福祉士	病棟病室業務 遠隔支援業務	研修修了		廣瀬 真江	看護師	○	○	○	○										
				電話相談																	
				その他																	
上越総合病院 がん相談支援センター	専任(専任以上) 専任(専任以上) その他 石橋 亜美	看護師 社会福祉士	入院相談支援	研修修了	128	小竹 成美	社会福祉士	○	○	○	○										
				電話相談	12																
				その他	9																
佐渡総合病院 がん相談支援センター	専任(専任以上) 専任(専任以上) 専任(専任以上) 渡田 望	MSW	患者サポートセンター業務	研修修了	181	菅原 望	MSW	○	○	○	○										
				電話相談	84	渡田 望	事務員	○	○	○	○										
				その他	0	中川 啓子	看護師	○	○	○	○										

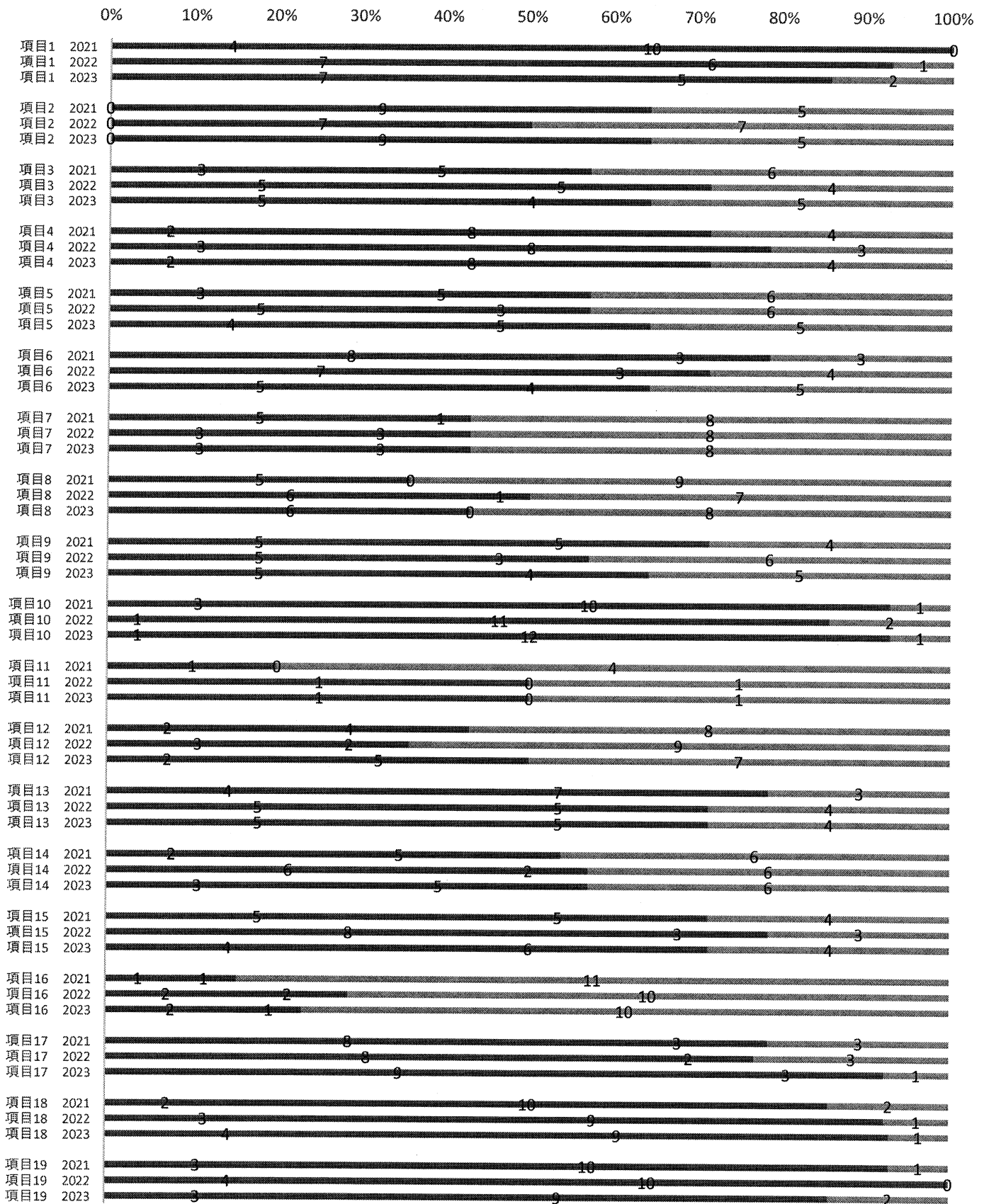
病院名	1. ハローワークとの連携について				2. 産業保健総合支援センターとの連携による仕事と治療の両立支援について				
	①実施状況		②相談実績		③今後の計画	④就労支援の取り組みについての課題	①実施状況	②両立支援促進員介入件数	
	ハローワークとの定期出張相談	実施状況	相談件数	紹介件数				R4	R5
県立がんセンター新潟病院	あり	毎週木曜日10時～15時実施。予約制で実施。	R4 22件 R5 3件	3件 0件	外来患者にハローワークや産業保健総合支援センターのリーフレット配布・ポスター掲示により就労支援について周知を図っている。 入院患者に対しては、退院支援スクリーニングにて就労支援のニーズについて把握し、希望に応じて出張相談を紹介している。 今年度は院内スタッフに就労支援を周知して、スタッフを介して患者に就労支援について知らしめる働きかけを行う予定。 ハローワークのオンライン相談の実施に向けて検討中。	院内スタッフに対する周知、啓蒙の取り組み状況を教えていただきたい。	両立支援促進員との面談は、患者の希望に応じて産業保健総合支援センターと日程調整し随時実施している。外来入院患者への情報提供は、ハローワークの出張相談と同様の形でやっている。事業場に産業医がいるケースがなく、コスト算定には至っていない。	R4 4件 R5 0件	
県立新発田病院	あり	毎月第2・4水曜日 14:00～16:00	R4 10件 R5 2件	1件 0件	院内にチラシ・リーフレットを設置し周知を継続していく	就労支援の事業について周知不足と感じている。周知の方法について工夫していることがあれば参考にしたい。	必要に応じて随時相談	R4 1件 R5 1件	
新潟市民病院	あり	・毎月2回(第2水曜日、第4火曜日13:00～16:00)出張相談を実施。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、これまで上記日時・時間帯に就業支援ナビゲーターに来院・在院していただいていたところを、出張相談予約が入っているときの来院とし、時間も相談予約の入っている時間帯のみを望むこととしている。	R4 18件 R5 4件	2件 0件	・より効果的な周知・広報の方法(ポスター掲示・チラシ設置の場所や方法について等)相互検討していく。 ・引き継ぎ、乳がん外来にて診察時、仕事について悩みをお話された患者さんに対し、医師よりハローワーク出張相談等のチラシを渡してもらい取り組みを継続する。		・患者さんからの希望に応じ、随時日程調整の上、出張相談を実施している	R4 1件 R5 0件	
新潟大学医学総合病院	あり	・特定の出張日は取らず、希望時に出張相談の調整を行っている。 ・相談支援センター等を介さずに直接ハローワークに出向き、就労支援を受けられている患者さんも多くおられる。	R4 0件 R5 0件	0件 0件			・特定の出張日は取らず、希望時に出張相談の調整を行っている。	R4 0件 R5 0件	
済生会新潟病院	あり	・毎月第3金曜日14時～15時、要予約制。	R4 2件 R5 0件	1件 0件	特に無し	特に無し	必要時随時調整。	R4 0件 R5 0件	
長岡赤十字病院	あり	・第1(木)、第3(金)に定期相談実施し、随時リモート相談も実施している。	R4 13件 R5 3件	4件 1件	・がん以外の就労相談が増えているため、がん関連以外の部署への周知をはかりたい		・随時対応している。	R4 2件 R5 2件	
長岡中央総合病院	あり	2回/月 第2金曜日、第4火曜日の13時30分～15時30分 予約なし時は30分程度の情報交換 定期出張日以外はオンライン相談を調整	R4 7件 R5 4件	3件 1件			随時調整。	R4 1件 R5 1件	
県立中央病院	あり	HW担当者と年度始めに面談(顔合わせ)施行。月2回電話にて相談依頼状況等、情報共有を行っている。相談者との初回面談(対面)はHW担当者とかん相談員が同席。アセスメントシートに沿って現状把握し、就労可能か否かを主治医の意見(診察時間内)を伺い、調整している。	R4 2件 R5 1件	0件 0件	引き継ぎHW担当者と情報共有を行い、相談対応や調整を行っていく。	特記なし	相談者より相談があった場合、相談者の同意を得た上で産保担当者へ電話連絡し調整。初回面談はがん相談員同席のもとアセスメントシートに基づき面談(対面)。	R4 2件 R5 0件	
魚沼基幹病院	なし	・ハローワークと連携を必要とする事例がなかったため、昨年は相談実績がなかった。	R4 0件 R5 0件	0件 0件	現状対象ケースがなく、必要時連携したいと考えている。		必要時に産業保健総合支援センター担当者との連絡を取り、支援をお願いしている。 R4年度、当該センターよりがん患者サロンでミニ講演をお願いしがん患者サロンの患者さんのおしゃべり会にも参加していただいた。	R4 1件 R5 0件	
西新潟中央病院	なし		R4 0件 R5 0件	0件 0件		特になし。	締結しているが、実績はない。	R4 0件 R5 0件	
立川総合病院	なし	・相談実績はなし。必要時や打診があった時は、連携を図ってきたいと考える。	R4 0件 R5 0件	0件 0件	院内でのポスター掲示や、リーフレットを配属し情報の周知を図っていく。また、支援が必要時は随時相談を実施していく。	・化学療法室にて就労について相談されることはある。その都度、リーフレット等を用いて両立支援の周知を図っているが、そこから相談実績には繋がっていない。	・相談実績はなし。必要時には患者様、御家族様には情報提供できるとし、また体調維持を促めている。	R4 0件 R5 0件	
柏崎総合医療センター	なし		R4 0件 R5 0件	0件 0件			MSWが適宜外来患者、入院患者の相談に応じている。両立支援の相談件数、昨年度は1件。両立支援制度の紹介は行ったが、産保センターの紹介連携までは至らなかった。	R4 0件 R5 0件	
上越総合病院	あり	毎月第3水曜日 14:00～16:00	R4 1件 R5 0件	0件 0件				R4 1件 R5 0件	
佐渡総合病院	なし	・実施なし	R4 0件 R5 0件	0件 0件	・個別相談を継続予定。		担当者変更のため4月に顔合わせ実施 R5.5、1件介入依頼予定	R4 0件 R5 0件	



新潟県 がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリストの評価(令和5年度)

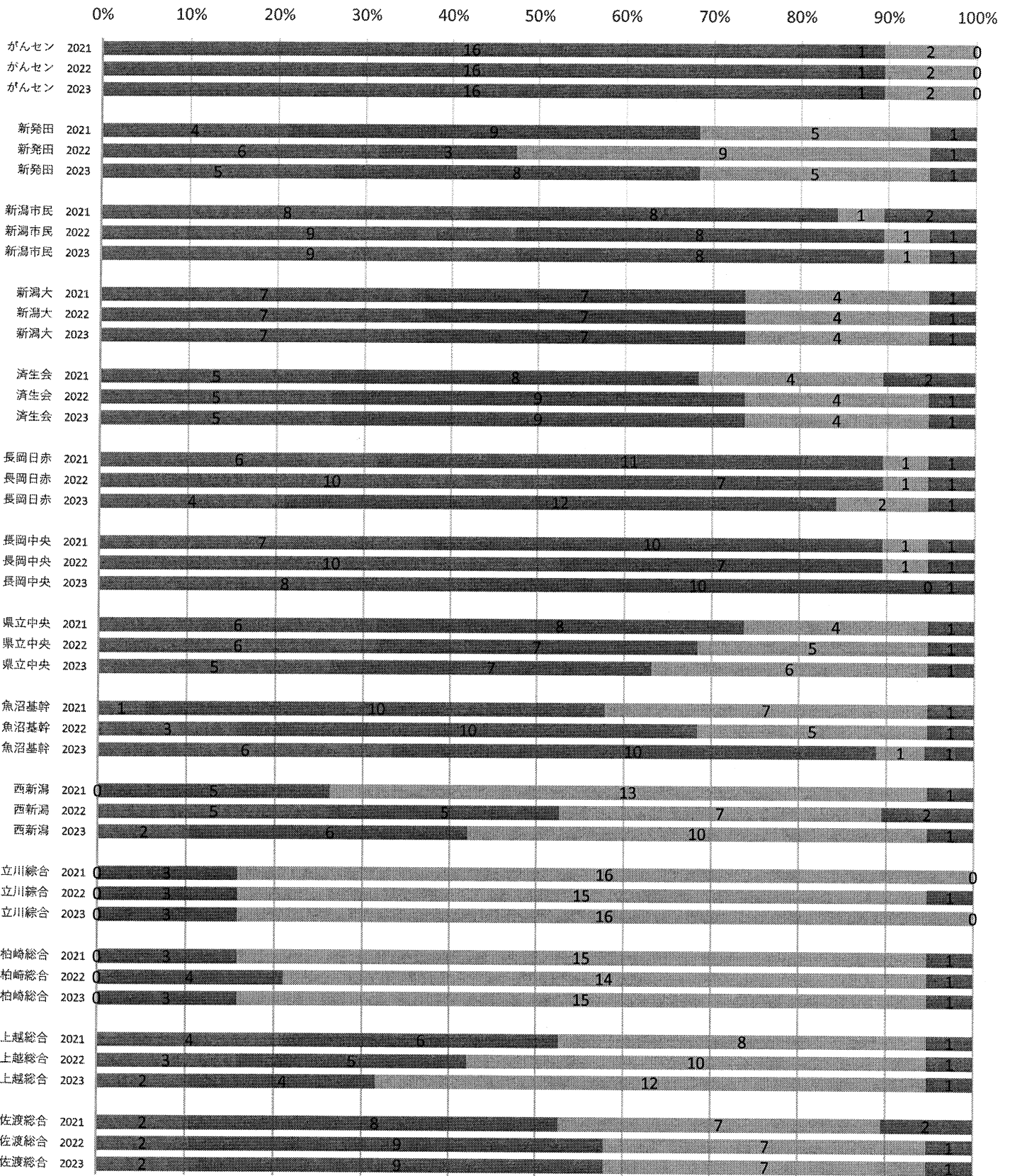
	がんセンター	新発田	新潟市民	新潟大学	済生会新潟	長岡赤十字	長岡中央	県立中央	魚沼基幹	西新潟	立川総合	柏崎総合	上越総合	佐渡総合
1	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、院内掲示や配布物(チラシ・診療案内・入院案内・院内広報誌等)、病院ウェブサイト等で、がん相談支援センターの窓口をわかりやすく提示し、それを定期的に見直している	3	3	3	2	2	3	3	3	1	2	2	1	2
2	ピアサポートの場をつくっている、またはピアサポートの提供が可能な場(患者会・患者サロン・ピアサポーター等)についての情報を提供することができる	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1
再掲 (1)	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、院内掲示や配布物(チラシ・診療案内・入院案内・院内広報誌等)、病院ウェブサイト等で、がん相談支援センターの窓口をわかりやすく提示し、それを定期的に見直している													
3	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、がん相談支援センターの役割(質の高いがん相談支援に求められる基本姿勢「Core Values」を含む)や業務を、院内スタッフに対して周知する機会(例:新人オリエンテーション・医局会等)を定期的に設けている	3	3	2	1	3	2	3	2	3	1	1	1	2
4	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、がんの患者・家族等に対して、診断初期の段階から主治医等よりがん相談支援センターの案内がなされるよう院内の体制を整備している(例:リーフレットや案内カードを渡しセンターを案内するよう、各診療科長を通じて全てのがん診療を担当する医師に依頼する等)	3	2	2	2	3	2	2	2	2	1	1	1	2
再掲 (2)	ピアサポートの場をつくっている、またはピアサポートの提供が可能な場(患者会・患者サロン・ピアサポーター等)についての情報を提供することができる													
5	基本計画や整備指針等でがん相談支援センターに新たに求められている事項や業務(例:ゲノム医療・希少がん・AYA・生殖機能等)に関連する研修(エラーニング・集合研修)に参加している	3	2	3	3	1	2	2	2	3	1	1	1	1
6	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、相談員に対し継続的な学習の機会を保障し、参加を促している(例:研修参加や認定がん専門相談員の認定取得を促す、必要経費の支出、不在時職務代替者の調整等)	3	1	3	2	2	2	3	1	3	2	1	1	3
7	病院管理者やがん相談支援センターの管理者は、がん相談支援センター内に相談員指導者研修を修了した者を配置している	2	1	3	2	1	3	2	1	3	1	1	1	1
8	がん相談支援センター内の情報共有や相談傾向の把握・課題抽出、他施設との比較ができるよう、相談記入シート(情報提供・相談支援部会で採用された「相談記録のための基本形式」)を用いて相談記録を作成している	1	3	3	1	1	3	3	3	3	1	1	1	1
9	相談者からの相談内容や対応を分析し、改善しうる課題について検討している	3	2	3	3	2	1	3	2	2	1	1	1	3
10	がん相談支援センター内で検討された課題や解決策を、必要に応じて病院管理者等に報告し、がん相談支援センターや病院全体としての質向上につなげている	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2
11	【都道府県拠点または部会担当施設】 部会で検討して解決が困難な課題を、上部の協議会に挙げ、解決をはかる仕組みがある	3									1			
12	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、がん相談支援センターで提供された支援に対する利用者からのフィードバックを得るための体制を整備している(例:センター利用者への満足度調査の実施、病院として実施する患者満足度調査に部門評価を含める等)	3	1	2	1	3	2	2	1	2	2	1	1	1
再掲 (5)	基本計画や整備指針等でがん相談支援センターに新たに求められている事項や業務(例:ゲノム医療・希少がん・AYA・生殖機能等)に関連する研修(エラーニング・集合研修)に参加している													
再掲 (6)	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、相談員に対し継続的な学習の機会を保障し、参加を促している													
13	がん相談支援センター内で情報提供・相談支援に活用する情報についての検討を定期的に行い、科学的根拠に基づく情報・信頼できる情報の整備・更新に努めている	3	2	2	3	2	2	3	3	1	3	1	1	2
14	がん相談部門のマニュアルや相談対応のQ&Aをセンター内で作成し、定期的に更新している	3	2	3	3	2	2	2	1	2	1	1	1	1
15	病院管理者は、がん相談支援センターの相談員をバックアップするための多職種連携・協働体制を整備している(例:相談員が相談対応に困ったときに助言を求められる担当者や各診療科・部門に指示する等)	3	3	2	3	3	1	2	2	2	1	1	2	2
16	相談対応した際の記録(音声データ等)とがん相談対応評価表等を用いて、定期的に相談対応のモニタリングを行っている	3	1	1	1	1	1	3	2	1	0	1	1	1
17	がん相談支援センター内で個人情報の取り扱い(守秘義務遵守・相談記録管理等)方針について定め、遵守されている 例:相談者の同意なく、主治医など相談支援センター外に伝えない等のルールが明文化されている	3	3	3	3	3	2	3	3	2	3	0	1	3
再掲 (5)	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、がん相談支援センターの役割(質の高いがん相談支援に求められる基本姿勢「Core Values」を含む)や業務を、院内スタッフに対して周知する機会(例:新人オリエンテーション・医局会等)を定期的に設けている													
再掲 (4)	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、がんの患者・家族等に対して、診断初期の段階から主治医等よりがん相談支援センターの案内がなされるよう院内の体制を整備している(例:リーフレットや案内カードを渡しセンターを案内するよう、各診療科長を通じて全てのがん診療を担当する医師に依頼する等)													
再掲 (9)	相談者からの相談内容や対応を分析し、改善しうる課題について検討している													
再掲 (10)	がん相談支援センター内で検討された課題や解決策を、必要に応じて病院管理者等に報告し、がん相談支援センターや病院全体としての質向上につなげている													
18	情報提供・相談支援に活用するがんに関する図書、小冊子やリーフレットは、センター内で内容を精査し、正確な情報が掲載されているものを設置・配布している	3	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	1	3
再掲 (5)	基本計画や整備指針等でがん相談支援センターに新たに求められている事項や業務(例:ゲノム医療・希少がん・AYA・生殖機能等)に関連する研修(エラーニング・集合研修)に参加している													
19	都道府県内のがん診療連携協議会や相談支援部会(部会下に設置されるワーキンググループ等を含む)に参加し、病院間での情報共有や役割分担を含む協力体制の構築を行っている	3	2	3	3	2	2	2	1	2	2	2	1	2
再掲 (19)	都道府県内のがん診療連携協議会や相談支援部会(部会下に設置されるワーキンググループ等を含む)に参加し、病院間での情報共有や役割分担を含む協力体制の構築を行っている													

## 自己評価の推移 項目別



■3 ■2 ■1

# 自己評価の推移 病院別



■ 3 ■ 2 ■ 1 ■ 未回答

**診療科のご案内**

内科 [ 消化器 / 呼吸器 / 血液、化学療法 / 内分泌 / 循環器 ]  
 消化器外科 [ 食道 / 胃 / 大腸 / 肝臓系 ]

- 乳癌外科
- 泌尿器科
- 麻酔科
- 脳神経内科
- 病理診断科
- 禁煙外来
- 呼吸器外科
- 放射線科 [ 診断 / 治療 ]
- 頭頸部外科
- 脳神経外科
- 歯科口腔外科
- 整形外科
- 眼科
- 緩和ケア科
- 精神科
- 婦人科
- 小児科
- 皮膚科
- 形成外科
- 女性外来

がん予防総合センターのご案内  
 がん精密(二次)健診、がんドック  
 「PET-CT検査」のご案内  
 病院紹介動画

地域医療連携  
 臨床試験支援室  
 市民公開講座

数字で見るがんセンター新潟病院  
 「臨床指標」  
 (クリニカルインディケーター)

新潟県がん診療連携協議会  
 がん診療拠点病院指定

新潟県がん診療連携協議会  
 協議審査委員会  
 (情報公開資料)

遺伝性乳がん卵巣がん症候群外来  
 遺伝カウンセリング外来  
 開診のお知らせ

「がんゲノム外来」  
 について

ホーム > 病院のご案内 > 新潟県がん診療連携協議会

**新潟県がん診療連携協議会**

新潟県がん診療連携協議会

**会長挨拶**  
 新潟県がん診療連携協議会会長のあいさつ  
 ・会長挨拶

**新潟県がん診療連携協議会について**  
 新潟県がん診療連携協議会の設置要綱、委員名簿、活動実績等のご案内です。  
 ・新潟県がん診療連携協議会について  
 ・設置要綱  
 ・委員名簿  
 ・活動実績

**部会について**  
 各部会の設置要綱、活動報告等のご案内です。  
 ・部会について  
 ・組織図  
 ・がん登録部会  
 ・研修教育部会  
 ・情報連携部会  
 ・緩和ケア部会  
 ・医科歯科連携部会

**関連情報サイト**  
 新潟県がん診療連携協議会の関連情報サイトのリンク集です。  
 ・関連情報サイト

**病院のご案内**

- 院長あいさつ
- 当院概要
- 施設基準
- あゆみ
- 基本理念・基本方針
- 職員の就業倫理
- 臨床倫理指針
- 「権利」と「お願ひ」
- 診療録開示の基本方針
- 診療情報の提供

ホーム > 病院のご案内 > 新潟県がん診療連携協議会 > 部会について > 組織図

**部会について**

**組織図**

**新潟県がん診療連携協議会**

事務局：  
県立がんセンター新潟病院

- がん登録部会**  
事務局：県立がんセンター新潟病院
- 研修教育部会**  
事務局：新潟大学医学部総合病院
- 情報連携部会**  
事務局：県立がんセンター新潟病院
- 緩和ケア部会**  
事務局：新潟市民病院
- 医科歯科連携部会**  
事務局：新潟大学医学部総合病院

## R5 年度 情報連携部会 ワーキンググループ活動

↓○で囲んでください

①G・2G・3G		リーダー(所属・氏名):新潟市民病院 小林 朝美	
ワーキング名	新潟県内におけるロボット手術に係る情報収集・共有チーム		
目標	新潟県内におけるロボット手術治療実施施設の現状を把握し、各病院が同様の情報を共有することで、相談者のニーズに応じてタイムリーにかつ、均等に情報提供・支援をすることができる。		
行動計画	日程	内容	担当
	10月中旬	アンケート作成 ・対象医療機関:新潟県がん診療協議会に属する病院 ・項目:実施している施設、がん種・術式、治療実績(R4.1.1~R4.3.31)、紹介方法 補足:今後予定されている手術(がん腫等)	小林
	11月中旬	新潟県がん診療協議会に属する病院へ情報連携部会メーリングリストを活用し、アンケートを送付(相談支援部門の方より回答していただく)	吉岡
	12月初旬	アンケート集計・結果報告	樋口
	1月中旬	ロボット手術の医療機関リスト作成	横関
	2月~3月	ロボット手術治療施設リストを情報連携部会へ提出。(運用方法等、メンバー・事務局と相談→R6.連携部会会議で報告。運用(案)を提示)	リーダーが中心となり、全員で行う
	(未定)	評価	全員

## ◆中間報告 11月中旬

中間評価	
後期に向けた課題	

## ◆最終報告 1月中旬

最終評価	
来年度に向けた課題	今年度中に目標達成し完了された場合は、来年度に取り組みたい内容を記載ください

\*枚数制限はありません

## R5 年度 情報連携部会 ワーキンググループ活動

↓○で囲んでください

1G・2G・3G	リーダー(所属・氏名): 県立新発田病院・齋藤 愛里		
ワーキング名	周知連携活動グループ		
目標	がん相談支援センターの院内への周知・連携を強化する		
行動計画	日程	内容	担当
院内スタッフ 向けの動 画を作成す る	9月初旬	Zoom ミーティング スタッフ向け動画作成内容の検討 以後(1回/月程度)Zoom ミーティングを調整	橋本:司会 小竹:書記 以下担当後日決定
	10月	PowerPoint 作成開始 ↓ 適宜内容検討、修正	作成: _____
	11月	↓ 《中間評価》	
	12月	PowerPoint に音声を入れ動画にする 各施設へ視聴依頼	録音: _____ 配信: _____
	1月	《最終評価》	

## ◆中間報告 11月中旬

中間評価	
後期に向けた課題	

## ◆最終報告 1月中旬

最終評価	
来年度に向けた課題	今年度中に目標達成し完了された場合は、来年度に取り組みたい内容を記載ください

\*枚数制限はありません



## 2グループ グループワーク

### ○目標について

7月の部会で、院内・外への周知が課題となっている。

周知活動に取り組み始めたところもあるが、確立していない、改善の余地がある施設が殆ど。

院外との連携は施設差もあると思われる。

院内のスタッフへがん相談支援センターの役割等が浸透していない。

まずは院内周知とスタッフ間の連携。

院内周知へ向けてのアイデアをこのグループで出していければ良いのではないかな。



院内スタッフが相談支援センターの役割を知り、対象者に気づいてつなげてくれるという体制を整えていくことが大事ではないかな。

まず、院内スタッフへの周知を。知ってもらう活動。

院内への周知をしっかりやってから次の段階で院外へ。まず院内への周知・連携をより強化するための提案を行う。

### ○内容について

周知を強化できるツールとして

- ・どの病院でもつかえるような患者向けリーフレットを作成する。

職員から渡してもらう。

具体的なことを書きすぎると共通にできないのではないかな。

何をどこまで入れると良いのかな。

- ・簡潔に表したポスターを作成する。詳しくない抽象的な内容なら共通ツールになるのでは。

ポスターを見る人は見るが素通りしがち。意味はあると思うが強化につながるか疑問。

- ・院内向け研修会をする … 短時間で視聴できるもの

PowerPoint に音声録音し動画化。各施設でスタッフに視聴してもらう。

各施設がその施設の方法で動画配信し院内スタッフにみってもらう

どのようなことをしているのか知ってもらうだけでなく、気になる患者がいたらつないでもらえることが大切。



周知用動画を作成し各病院へ発信するまでを今年度おこなう。院外への周知はその後検討する。メンバーの都合をみながら適宜日程調整し Zoom ミーティングで。(毎月開催と思われる)

## R5 年度 情報連携部会 ワーキンググループ活動

↓○で囲んでください

1G・2G・ <b>3G</b>		リーダー(所属・氏名): 済生会新潟病院 渋川 健史	
ワーキング名	アピアランスケアの情報共有徹底		
目標	情報連携部会の各病院のアピアランスケアについての取り組みと、自治体の取り組みの情報収集		
行動計画	日程	内容	担当
	10 月末まで	アンケート用紙作成	全員
	11 月(中間報告)	アンケートの説明、協力依頼。	全員
	1 月の最終報告前まで	アンケート集計・分析	全員
	1 月の最終報告	アンケート結果報告	全員

## ◆中間報告 11月中旬

中間評価	
後期に向けた課題	

## ◆最終報告 1月中旬

最終評価	
来年度に向けた課題	今年度中に目標達成し完了された場合は、来年度に取り組みたい内容を記載ください

\*枚数制限はありません